



明治大学
MEIJI UNIVERSITY

明治大学校友会

千葉県西部支部だより

第10号
2014年
夏

発行：明治大学校友会千葉県西部支部 〒272-0835 千葉県市川市中国分4-13-12 発行人：行木 勝男

第49回 全国校友大分大会開催

「湯くわく、味わく、明治わく！」（誘惑、魅惑）をキ
ャッチフレーズに、温泉の湧出量日本一の大分県で、
平成25年10月5日（土）全国から1,200名の校友
が参加し、全国校友大分大会が別府ビーコンプラザで
開催された。

大会は、アテネオリンピック カヌー競技入賞の林
美穂旗手（平成14年商学部卒）により女性初の大会旗
が入場し、矢野博文大会実行委員長から「他県からの
支援を受け、九州が一つになり開催することが出来た。
温泉と料理を楽しんで下さい。」と歓迎の挨拶があり、
大学役職者、校友会役員の紹介の後に、向殿政男校友
会長が「明治大学に勢いがあるのは校友の力が大きく、
どんなことがあっても挫けることなく前へ前へと進み、
52万校友と共に隆盛を築いている、その良さを生かして社会に貢献し、風格、品格の
ある校友会を目指したい」と挨拶があった。

日高憲三理事長、福宮賢一学長からそれぞれ祝辞があり、続いて来賓の広瀬勝貞大
分県知事から「創立130周年が過ぎ、50万人の卒業生が各分野で活躍しており、さ
らに4年連続入学志願者が日本一となるなど大変魅力のある大学です。」と祝辞があり、
別府市の浜田博市長からは「源泉数、湧出量共に全国一位で、泉質の豊かさは世界に
類をみない温泉の別府へようこそ。市民を代表し、お礼申し上げます。」と祝辞を述べ
られた。

片桐通夫連合父母会会長からの祝辞を以つて、万歳三唱で大会は閉会した。

記念講演会では「古賀政男とマンガラと私」と題して、明治大学マンドリン倶楽部
常任指揮者である甲斐靖文氏（昭和37年法学部卒）が、時代を越え、世代を越え、国
境を越えた永遠の古賀メロデーの誕生秘話と、ご自身の作曲、編曲等についての工
ピソードを交えた講演をされた。

懇親会では、地元大分出身の村山富一元内閣総理大臣による歓迎の挨拶後、鏡開き
があり、山口政廣校友会副会長の乾杯の音頭でアトラクションが始まり、地元のバン
ド「ヒットパレード」による60年代ポップスのヒットパレードと、明治大学マン
ドリン倶楽部OB会による演奏があり、続いて女性だけの「豊後くれない太鼓」の会
場に響きわたる勇壮な演奏があり、最後に応援団OB有志のリードによって校歌を大
合唱すると、会場の盛り上がりは最高潮に達し、明治が一つになった。

（35年法卒 行木勝男）



第10回 千葉県西部支部総会開催

第10回千葉県西部支部総会が、昨年6月23日（日）
にJR柏駅前の三井ガーデンホテル柏で開催されま
した。

総会はこちら来賓の方を含め112名の出席者があり、
今年の幹事地域支部の柏地域支部長である宇都宮幸
正副支部長（柏地域支部長）の開会の挨拶で始まり
ました。一昨年の総会で選任された新支部長の行木
支部長の挨拶があり、17000名を越える卒業生
を有する千葉県西部支部を盛り上げていこうとする
意気込みが伺えました。

新任である幹事長と会計幹事長のややぎこちない
事業報告、収支報告や事業計画案、収支予算案等の
議事も無事に進んだ後、ご来賓の祝辞を頂きました。
大学より経営企画担当の橋口隆二常勤理事、校友会
より山口政廣副会長がご出席され、現在の学校経営
の在り方等についてお話をされました。最後に佐川
清副支部長（市川地域支部長）の閉会の挨拶で総会
は終了となりました。

会場を移して懇親会では、清水潔副支部長（松戸
地域支部長）の開会の言葉、来賓である千葉県東部
支部の椎名茂樹名誉支部長の挨拶の後、猪瀬主税名
誉西部支部長の元気で闊達な音頭で乾杯となりました。

今回は明治大学応援団・チアガールの若さ溢れる
アトラクションがあり、賑やかに時間を過ごし、恒
例の校歌斉唱が行われ、関副支部長（我孫子地域支
部長）の閉会の言葉で幕を閉じました。

多数の校友を有し、交通の便もよく地理的にも集
まりやすい千葉県西部支部ですので、益々の発展を
目指し、2000名の総会を達成したいと思います。

（62年法卒 武士田卓志）

浦安地域支部

浦安地域支部の活動について

今年度は6月15日に千葉県西部支部総会の会場をお引き受けした関係から、会員一同、一致団結して西部支部の皆様をお迎えし、つつがなく記念講演会・総会・懇親会を行いました。と思っておりますので、一人でも多くの会員の皆様のご参加をお願いいたします。

また同日、西部支部総会終了後、浦安地域支部の総会を予定しておりますので、こちらもよろしくお願いたします。



さて、浦安地域支部が活動の一番として掲げているのが新会員の発掘です。特に30歳〜40歳代の若手の参加が少ない現状なので、この世代の加入に力を注いでいます。昨年の市民まつりには、市内にある明治大学のボランティアセンターの協力をいただき、浦安地域支部のPRを行ったところ、明大OBですと言ったブリスに寄っていただき、会員申し込みを促していただけた方もおり、このようなイベントを通じて徐々にではありますが地域に浸透していければと考えております。

今年度のイベントとしては、恒例の美浜公園でのお花見に始まり、市内の温泉施設での暑気払い、市民まつりでのPRを兼ねた新会員の募集、市内の名所・旧跡を巡るウォーキング、忘年会や新年会とバラエティに富んだ内容で開催し、会員同士の交流・親睦を深めていきます。

また母校明治大学との関連については、ホームカミングデイや全国交友大会への参加、六大学野球やラグビーの応援、さ

らには来年のお正月の箱根駅伝の応援にも皆で繰り出そうと計画を立てています。今年も地域に根差した浦安地域支部として活動してまいる所存ですので、皆様方のご鞭撻をよろしく願います。

(52年法卒 板橋純三郎)

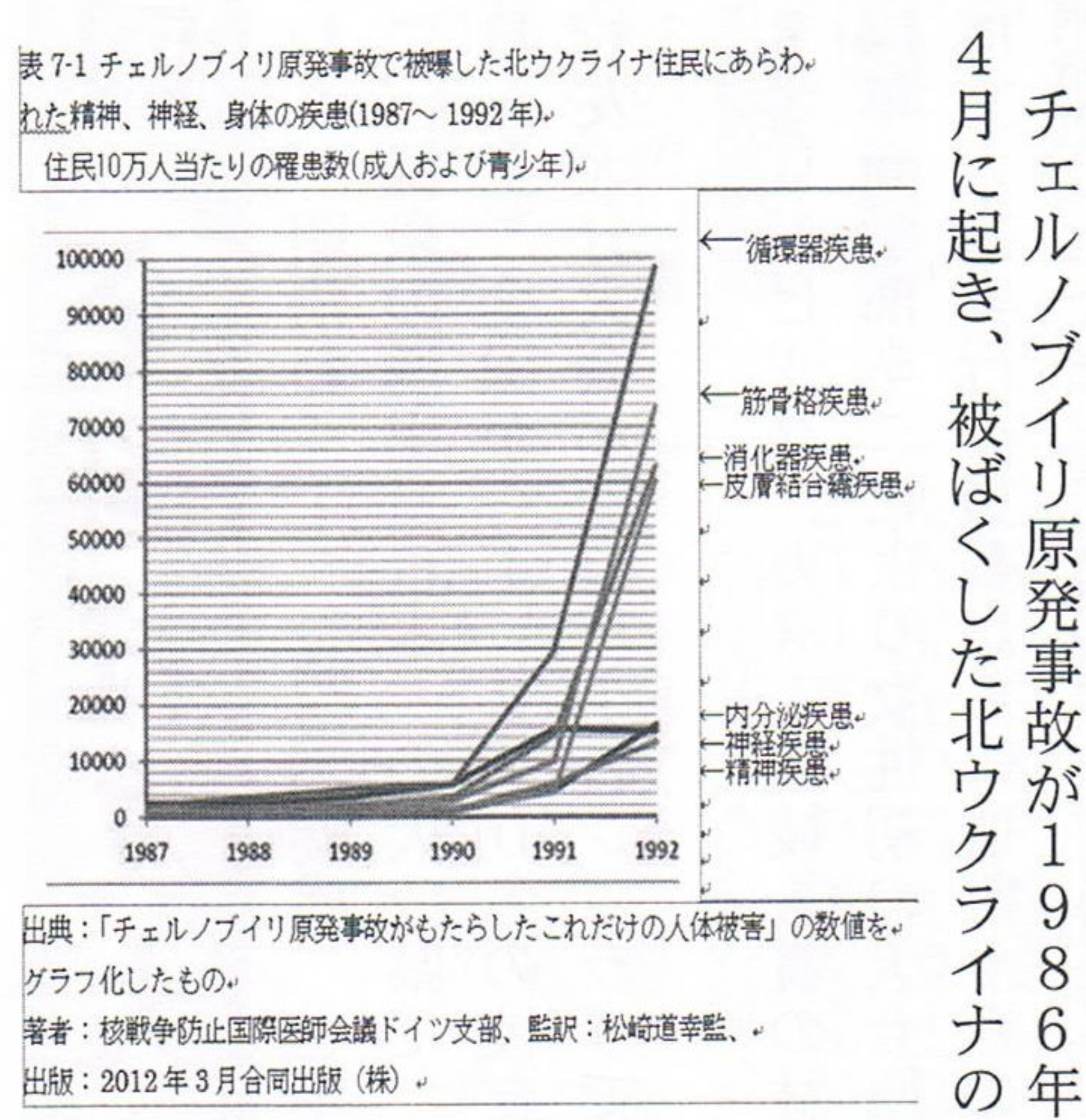
我孫子地域支部

健康維持のために

放射能被ばくに気を付けよう

最近周りの人で心筋梗塞などの循環器系の病気になった人が多くなつたと感じる。私は放射能事故によるセシウムの影響もあるのではないかと疑っている。従来の国民の安全基準は年間1ミリシーベルト以下とし、5ミリシーベルト以上は放射線管理区域として一般人は立ち入り禁止となつていた。それが原発事故以降20ミリシーベルトに緩和された。これに反対して放射線安全学の小佐古東大教授は甘すぎるとして内閣官房参与を辞めた経緯があり、涙の記者会見として記憶に残る。

東京都健康安全研究センターは首都圏に降下している月間のセシウムの量の測定結果を発表しているが福島第一原発事故の直後は都内でも8,000ベクレル以上のセシウム134,セシウム137が降下した。



住民に現れた疾患が増加した。表7-1のグラフで見ると5年目の1990年から急激に増えている。特に心臓等の循環器疾患が一番急激に増えている。これと福島第一原発の場合とは条件が違うので対等には比較は出来ないが、参考にはなる。

心臓・循環器や体力に不安がある人は例えお金がかかっても早期に医療機関で被ばくの検査を受け、実態をつかんで各人の健康維持の為に対策を講じる必要があるのではと思う。

(38年商卒 山下廣之)

市川地域支部

支部設立10周年記念と

マンドリン倶楽部コンサート開催

市川地域支部は今年度支部設立10周年を迎えることになりました。これを記念して5月18日(日)の地域支部総会では総会、懇親会に先立ち10周年記念式典を執り行います。地域支部設立に多大な貢献をされた、行木、伊神、小菅の3氏へ感謝状並びに記念品を贈呈、総会出席者全員についても記念品を贈呈し、会報「まつかぜ」では「10年の歩み」を特集します。

さらに、平成20年に市川地域支部として初めて開催した「明大マンドリン倶楽部市川チャリティコンサート」を10周年記念に合わせ、第2回目として平成26年12月7日(日)に市川市文化会館で開催いたします。前回も大変好評でしたが、今回も多くの皆様に心待ちにしていただいているなか、実行委員会を立ち上げ、準備を進めています。

他にも地域支部活動として、新年会、暑気払い、「いちかわ市民まつり」への参加や同好会活動等、会員相互の親睦、交流が活発に図られています。明治大学の4番目の新しいキャンパスとなる中野キャンパスの見学会なども企画されています。

市川地域支部では、ホームページを運

営し、大学や校友会に関する情報、支部の行事に関する情報など、随時発信していきます。是非ご利用ください。いますようご案内いたします。

(47年政経卒 明村澄雄)



meiji4icikawa@dip.jp

松戸地域支部

「明大は、いまや女子力花盛り」

今年の冬は、大変厳し寒さと久しぶりの大雪に悩まされました。しかし、だからこそ今満開の桜の美しさは、際立っています。春は、入学式のシーズンでもあります。

さて、私は明治大学大学院日本文学研究科博士後期課程を、昭和五九年三月に終了しました長江曜子と申します。松戸地域支部では副幹事長を務めさせていただいています。また、昭和五八年よりもう一つの母校聖徳大学(当時は短大)と、平成三年より明治大学商学部で、母校の学生の教育と研究に邁進しています。

松戸東口にある70mのガラス張りの校舎で、SOA(聖徳大学オープンアカデミー)校長を務め、十代から九〇代の生涯学習の学びにも携わらせていただいています。

私の三つの大学母校(聖徳・共立・明治)中、唯一の男女共学「明治大学」の同窓会である校友会は、清水潔会長以下、「女子力」を大切に尊重し、活躍の場を与えてくださっている、リベラルな組織です。また、女性の先輩の方々は、凛として、自立心にあふれ、明るく、気配り豊かで、尊敬でき、常に学ばせていただいています。

かつては、男の大学の代名詞であった「明治大学」でした。今なお現役のスタ―として礼儀正しく、男気があふれ、伝説ともいわれている高倉健さんがその代表

格でしようか。しかし、今や北川景子、井上真央さんなどの女優も多く輩出しています。

平成三年から始めた「文章表現」では、最初はわずか一割しかいなかった女子学生も、今やクラスによつては四割が女性となりました。女子大の表面上の華やかさとは一線を画した、「志のある、紫魂あふれる女子大生」そのものです。

さすが、戦前より明大女子部（法律等、戦後は短期大学となり、〇六年三月閉校）を日本初設立したりベラルな学風は、社会にも活躍する数多くの、明大出身の女子力あふれる人材を育成した歴史とともに今に生きています。

明大校友会松戸地域支部のチームワークの中を支える、素敵な女性の先輩に感謝いたします。

（59年院・日本文学研究科博士後期課程 修了 長江曜子）

船橋地域支部

マンクラ演奏会に向けて

船橋地域支部は、平成17年7月25日の発足後8年の時を刻みましたが、この間、当地域支部としましては、さまざまな親睦行事・活動を行って参りました。

このたび、こうした地域支部活動の一環として、他の地域支部においては既に行われている明治大学マンドリン倶楽部（「マンクラ」）の演奏会を当地域支部においても今秋開催する運びとなり、現在実行委員会を立ち上げ、開催準備活動に入っております。

開催方法について

①開催形態：当地域支部の単独開催

②開催場所：船橋市民文化ホール

（客席数 1,000席）

③開催日：平成26年10月12日（日）

（開場：15時、開演：15時30分）

④入場料：2,500円（全席自由）

10月12日の開催日までに実行すべき

主な重要課題について

①実行委員会の設置、運営
②演奏会までの工程表作成と合理的な工程管理

③全体収支見通しの作成

④マンクラ側との交渉

（マネジャーを通しての交渉が原則）

⑤大学側との交渉（大学側は、マンクラを「派遣する」というスタンス）

⑥船橋市との交渉

⑦リーフレット、入場券、プログラム、ポスター等印刷物の原案作成並びに業者選定と契約交渉

⑧入場料価格の決定

⑨販売活動の構築と入場券管理

⑩広告掲載料価格の決定並びに広告掲載先獲得活動と契約交渉

⑪開催日までの所要資金の算出と調達方法

⑫資金、収支記録の管理方法及び収支決算報告書作成並びにその担当者を選定

⑬演奏当日の対応方針の決定

・マンクラへの対処（詳細：略）、

・当日の要員確保と配置

・総合司会者と代表挨拶者の人選

・当日のビデオ撮影担当者と録音担当者（又は業者）の決定

実際の準備作業に入ってみると、覚悟の上とは言え、経験者皆無の中で、疑問の山、不安の山に直面し悪戦苦闘しておりますが、10月12日の開催実現に向けて支部長以下一同何とか頑張っております。よろしくご指導ご鞭撻下さるようお願い申し上げます。

（38年商卒 前田勝己）

流山地域支部

「輪を重ね 絆深まる 校友会」

流山地域支部は平成十九年七月に千葉県西部支部の七番目の地域支部として誕生し六年が経過しました。支部活動も年々、回を重ねるにつれ、多彩な行事を展

開しております。

総会、公開講座、探訪ウォーキング、柏・我孫子・両地域支部との合同ゴルフ会、忘年会、新年会・・・などなど。

今年新たな試みとして春と秋に流山市の敬老バス（使用料は高速道路料金とガソリン代のみ負担）を利用したバスツアーを企画実行し大変好評でした。

「四月二十日千葉県野田市にある関宿城の見学会実施」

戦国時代末期に北条方と上杉方間で繰り広げられた関宿合戦などの話をガイドから聞き歴史に思いをはせさせる。

「十月十二日成田航空科学博物館と千葉県立房総のむらの見学会実施」

航空科学博物館は成田国際空港に隣接する日本で最初の航空専門の博物館として平成元年に開館したものでYS-11試作機やボーイング747の客室実物大モックアップ、成田国際空港全域の模型なども展示されており、航空技術の先端を垣間見る。

房総のむらは江戸時代後期の武家屋敷、商家、農家など当時の景観で再現されており生活様式など興味深く見学。現代から江戸末期へと、まさにタイムスリップした一日でした。

これらの行事を通して校友の絆が一層深まったことを実感しています。

これからも一人でも多くの校友が入会されるよう地域支部の活動情報の発信にも一層心掛けていきたいと思っております。

（37年法卒 横尾行男）



明治大学校友会流山地域支部 関宿城バスツアー 2013年4月20日（土）

柏地域支部

大学シヨック

三年で駿河台校舎へ行った頃。ゼミの先生から、「明治大学は東大に比べて看板

として大分見劣りがするから、よほど勉強をして力をつけなさいといけない」といわれ、親が田圃に這いずって、草取りをする姿を思い出しながら、朝7時から夜10時まで、自習室で、良く分からない法律書を読み続けた。目標は、「大岡名裁き」の現代版をやりたいと、そのための司法試験に合格するためだ。

結果、択一試験は4年の時に受かってその後何回か受かったが、論文試験に毎回落ち、就職後4年目に択一も落ち、受験できない司法試験の論文試験の期間に余暇の利用として、共通科目がいくつかある「司法書士試験」を受けてみることにした。学習期間も数か月しかなく、勉強も不十分だったので、専門科目がほとんど分からなかった。試験の途中で帰ろうと思ったが、せっかく休暇を取って、交通費を使って、受けに来たのだから、最後まで受験し答案用紙に記名して帰ろうと、気持ちを変えて答案を出してきた。

ところが、後日法務局から来た通知は、試験の合格通知だった。その後、千葉県法務局での口頭試問に臨んだが、実務経験が全くないままなので、ほとんど回答できなかつた。不合格だろうとおもっていたら、とどいた通知は合格だった。合格しても、それで生活できるとは、思いもよらず、司法書士になる予定はなかつた。ところが、職場に「ハンコ屋」が訪ねてきて、「職印」をつくりませんかとのこと。値段は、給料一か月分。職印を作って、仕事になるのかと聞いたら、法務局の周りで事務所が沢山あり、みんな仕事をしているとのこと。職場に何の不满もない生活だった。

ならば、はじめてみるかと、始まった司法書士業も、41年目に入った。家族や、法務局、知人友人に助けってもらいながら、今日まで生活してきました。その間、明治大学校友会柏地域支部の結成にも参加させていただき、現在は先輩と一緒に会の会計監査の任を承っている。

（42年法卒 佐々木利夫）



第十一回 千葉県西部支部総会・懇親会・公開講演会のお知らせ

日時 平成26年6月15日(日) 午後1時〜

会場 浦安ブライトンホテル

会費 六千円

公開講演会(無料) 午後1時〜

☆テーマ「浦安の再生と創生

再び『うらやま市』を目指して!

☆講師 浦安市長 松崎 秀樹

(昭和49年商学部卒)

総会・懇親会 午後2時〜

※公開講演会は一般公開ですので、ご家族・お知り合い・浦安市民のご来場も歓迎です。

各地域支部の総会・懇親会

☆我孫子 4月26日 けやきプラザ9階ホール

☆柏 5月11日 ザ・クレストホテル柏

☆市川 5月18日 山崎製パン企業年金基金會館 大ホール

☆流山 5月25日 割烹 せきや

☆船橋 6月1日 フローラ西船

☆浦安 6月15日 浦安ブライトンホテル

☆松戸 11月16日 聖徳大学10号館

明治大学未来サポーター募金にご協力をお願いします

「明治大学未来サポーター募金」は、寄付金の使い道を以下の5つの分野の中から選んでいただくことで、寄付者の本学への思いをダイレクトに反映出来ます。母校の更なる飛躍と発展の為に、皆様からのより一層のご支援とご協力をお願い致します。

- 奨学サポート資金
- 国際化サポート資金
- 研究サポート資金
- スポーツサポート資金
- キャンパス整備サポート資金



マンドリン倶楽部演奏会が開かれます

今年も明治大学マンドリン倶楽部のチャリティ演奏会が、10月(船橋)、12月(市川)開催されます。

◇船橋地域支部主催

日時 10月12日(日) 午後3時30分開演 (開場:午後3時)

会場 船橋市民文化ホール

指揮者 甲斐 靖文

入場料 二千五百円

◇市川地域支部主催

日時 12月7日(日) 午後3時開演 (開場:午後2時30分)

会場 市川市文化會館大ホール

ゲスト 知里

(ちばテレビ「知里のミュージックエッセンス」出演中) 入場料 二千五百円



国立、最後の明早戦

平成25年12月1日関東大学対抗戦 (国立競技場)

明治3 [3-3, 0-12] 15早稲田

伝統の一戦にふさわしい4万6961人の満員の観客に国立競技場が湧きました。建て替えを控える現在の国立競技場での最後の明早戦、40年間200万人の集大成がそこにありました。

「国立ラストの試合にふさわしい内容だった」との丹羽政彦監督が振り返るように、前半は3対3の好ゲームで後半に入りました。結局は敵陣でのトライを取り切れず、ノートライに終わり、敗戦を喫しました。

しかし、新しくなった国立での明早戦を期待できる内容だったことは、集った人々の心に残ったでしょう。(62年法卒 武士田卓志)

第50回 全国校友新潟大会のお知らせ

今年も明治大学全国校友大会が開催されます。

第50回記念大会は、ときめきの国 新潟県です。例年各地域支部から大勢の校友の方に参加して頂いていますが、今年には新潟県護国神社にて戦没学徒慰霊祭も行われますので、お誘い合わせて多数ご参加ください。

日時 9月7日(日)

会場 朱鷺メッセ(新潟県新潟市)

テーマ きなせや!うまさぎっしり柳都・新潟 「越後一会」



第50回 明治大学全国校友新潟大会

2014年9月6日(土)・7日(日) 会場 朱鷺メッセ 新潟市中央区万代6-1



第十七回「ホームカミングデー」のお知らせ

開催日 平成二十六年十月十九日(日)

会場 明治大学 駿河台キャンパス全域 (リバータワー、アカデミーコモン、グローバルフロント)

編集後記

時の流れを、一層早く感じる年代に入ってきましたが、2020年東京オリンピックまでは「まだまだ前へ前へ」とゆっくりいききたいと思います。(関記)

編集委員

- 関 俊雄(編集長)・大塚裕久(浦安)
- 宇津野史行(松戸)・猪瀬安次(我孫子)
- 山田秋彦(柏)・前田勝己(船橋)
- 明村澄雄・武士田卓志(市川)・大和田隆(流山)

